

令和7年における労働災害発生状況

令和7年5月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

令和7年 業種別労働災害発生状況 その1

令和7年5月末現在

北海道労働局

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	26	2,644	2,670	18	2,867	2,885	-215	-7.5	100.0	48	8,585	8,633
製造業	2	363	365	1	405	406	-41	-10.1	13.7	7	1,114	1,121
食料品		180	180		207	207	-27	-13.0	6.7	2	578	580
木材・家具		32	32		35	35	-3	-8.6	1.2		104	104
紙・印刷		7	7		4	4	3	75.0	0.3		17	17
窯業・土石		17	17		15	15	2	13.3	0.6		42	42
金属・機械	1	64	65		56	56	9	16.1	2.4	3	161	164
その他	1	63	64	1	88	89	-25	-28.1	2.4	2	212	214
鉱業					2	2	-2	-100.0			2	2
土石採取業		10	10		9	9	1	11.1	0.4		26	26
建設業	8	243	251	6	238	244	7	2.9	9.4	18	834	852
土木工事業	2	94	96	2	79	81	15	18.5	3.6	9	263	272
建築工事業	3	88	91	2	97	99	-8	-8.1	3.4	6	371	377
木造建築業	2	24	26	1	29	30	-4	-13.3	1.0	1	105	106
その他	1	37	38	1	33	34	4	11.8	1.4	2	95	97
交通運輸事業		137	137		120	120	17	14.2	5.1		372	372
陸上貨物運送事業	2	300	302	1	325	326	-37	-11.3	10.8	4	855	859
道路貨物運送	2	287	289	1	307	308	-19	-6.2	10.8	4	804	808
陸上貨物取扱		13	13		18	18	-18	-100.0			51	51
港湾運送業		9	9		8	8	1	12.5	0.3		19	19
林業	5	28	33	1	24	25	8	32.0	1.2	4	75	79
水産業		23	23		20	20	3	15.0	0.9		106	106
商業	2	407	409	2	446	448	-39	-8.7	15.3	3	1,174	1,177
清掃・と畜業	2	162	164		187	187	-23	-12.3	6.1		504	504
上記以外の事業	5	962	967	7	1,083	1,090	-110	-10.1	36.7	12	3,504	3,516

※ 本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。

※ 死亡災害及び休業災害の件数は、本年・昨年ともに把握した件数である。

令和7年 業種別労働災害発生状況 その2

令和7年5月末現在

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		17	17	1	30	31	-14	-45.2	0.6	2	143	145
畜産業		86	86	3	88	91	-5	-5.5	3.2	4	288	292
金融・広告業		23	23		15	15	8	53.3	0.9		45	45
映画・演劇業					1	1	-1	-100.0			2	2
通信業	1	77	78		98	98	-20	-20.4	2.9		198	198
教育・研究業		27	27		28	28	-1	-3.6	1.0		74	74
保健衛生業		471	471		539	539	-68	-12.6	17.6	1	1,954	1,955
接客娯楽業		156	156	1	174	175	-19	-10.9	5.8	2	465	467
その他の事業	4	118	122	2	110	112	10	8.9	4.6	3	335	338
合計	5	975	980	7	1,083	1,090	-110	-10.1	36.7	12	3,504	3,516

「第三次産業」の内訳

業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	2	407	409	2	446	448	-39	-8.7	15.3	3	1,174	1,177
うち小売業	2	313	315		344	344	-29	-8.4	11.8	1	911	912
金融・広告業		23	23		15	15	8	53.3	0.9		45	45
映画・演劇業					1	1	-1	-100.0			2	2
通信業	1	77	78		98	98	-20	-20.4	2.9		198	198
教育・研究業		27	27		28	28	-1	-3.6	1.0		74	74
保健・衛生業		471	471		539	539	-68	-12.6	17.6	1	1,954	1,955
うち社会福祉施設		250	250		292	292	-42	-14.4	9.4	1	882	883
うち医療保健業		214	214		241	241	-27	-11.2	8.0		1,057	1,057
接客・娯楽業		156	156	1	174	175	-19	-10.9	5.8	2	465	467
うち飲食店		74	74		75	75	-1	-1.3	2.8		197	197
うち旅館業		36	36		56	56	-20	-35.7	1.3		128	128
うちゴルフ場		5	5	1	12	13	-8	-61.5	0.2	1	55	56
清掃・と畜業	2	162	164		187	187	-23	-12.3	6.1		504	504
その他の事業	4	118	122	2	110	112	10	8.9	4.6	3	335	338
うち警備業	1	28	29		34	34	-5	-14.7	1.1		80	80
合計	9	1,441	1,450	5	1,598	1,603	-153	-9.5	54.3	9	4,751	4,760

令和7年 業種別死亡災害発生状況 [速報]

令和7年5月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 7 年		令 和 6 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全 産 業	26 (6)	100.0	18 (1)	100.0	8	44.4	3	17.6
製 造 業	2 ()	7.7	1 ()	5.6	1	100.0	1	100.0
鉱 業	()		()			—		—
建 設 業	8 ()	30.8	6 ()	33.3	2	33.3	2	33.3
交 通 運 輸 事 業	()		()			—		—
陸上貨物運送事業	2 (2)	7.7	1 (1)	5.6	1	100.0		—
港 湾 運 送 業	()		()			—		—
林 業	5 ()	19.2	1 ()	5.6	4	400.0	4	400.0
そ の 他 の 事 業	9 (4)	34.6	9 ()	50.0		—	-4	-44.4

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和7年 業種別死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)[速報]

令和7年5月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 7 年		令 和 6 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	9 (4)	100.0	9 ()	100.0		—	-4	-44.4
小売業	2 ()	22.2	()		2	—	2	—
医療保健業	()		()			—		—
社会福祉施設	()		()			—		—
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	11.1	()		1	—	1	—
ビルメンテナンス業	1 ()	11.1	()		1	—	1	—
ゴルフ場の事業	()		1 ()	11.1	-1	—	-1	-100.0
警備業	1 ()	11.1	()		1	—	1	—
農業・畜産業	()		4 ()	44.4	-4	—	-4	-100.0
水産業	()		()			—		—
その他	4 (4)	44.4	4 ()	44.4		—	-4	-100.0

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和7年 業種別・年別・月別死亡災害発生状況 令和7年5月末現在

北海道労働局

業種別	1号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		8-2号		13-2号		その他 の事業		合計						
	製造業	うち木材木 製品製造業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業	小売業	社会福祉施設														
年別																									
平成25年	6		22	7	2		1	4	4	5	1	12	64												
平成26年	4		22	6	2			4	6	7	1	13	65												
平成27年	7		25	10	3	1	1	4		4		10	65												
平成28年	7		30	13	1			5	2	3	2	14	77												
平成29年	8		23	10	2			5	5	4	3	21	81												
平成30年	11	1	17	11				6		6	1	11	63												
令和元年	10		20	6	2			8	1	2		13	62												
令和2年	6	1	14	4	3	2		4	3	2		13	51												
令和3年	3	1	20	8	1			1	3	5		18	59												
令和4年	5		23	5	1			1	2	3	1	12	53												
令和5年	4		6	10	1			4	1	2		23	51												
区分 月別 年別	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	
令和6年	1月			1	1	1	1			1	1						2	2	5	5					
	2月			2	3		1				1				1	1	1	3	4	9					
	3月	1	1	2	5		1				1					1	4	4	13						
	4月		1		5		1				1					1	6	2	15						
	5月		1	1	6		1				1					2	8	3	18						
	6月		1	2	8	1	2				1					2	10	5	23						
	7月	2	3		8		2				1					10	2	25							
	8月	1	4		10	1	3				1			1	1	10	5	30							
	9月		4		12		3				1			1	1	11	3	33							
	10月	1	5		14		3				1			1		11	3	36							
	11月		5		18	1	4				2	3		1	1	11	7	43							
	12月	2	7		18		4				1	4		1	1	2	13	5	48						
令和7年	1月	1	1		3	3	1	1			2	2			2	2	3	3	12	12					
	2月	1	2		5		1				1	3				2	5	6	18						
	3月		2		5	1	2				2	5				2	7	5	23						
	4月		2		5		2					5				2	7		23						
	5月		2	3	8		2					5				2	7	3	26						
	6月		2		8		2					5				2	7		26						
	7月		2		8		2					5				2	7		26						
	8月		2		8		2					5				2	7		26						
	9月		2		8		2					5				2	7		26						
	10月		2		8		2					5				2	7		26						
	11月		2		8		2					5				2	7		26						
	12月		2		8		2					5				2	7		26						
対前年 同期比	±0	1	±0	±0	2	2	±0	1	±0	±0	±0	±0	±0	±0	4	±0	±0	±0	1	±0	±0	±0	-1	±0	8
百分率	±0	100.0	±0	±0	200.0	33.3	±0	100.0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	400.0	±0	±0	±0	100.0	±0	±0	±0	-12.5	±0	44.4

※ 本統計は業種別の死亡災害発生件数を、発生年又は発生月ごとに記載したものである。
 ※ 本年及び昨年は速報値を基に、発生月ごとの件数を記載したものである。

令和7年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
令和7年5月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号	1	3	4	5	6-2	7-2	8-2	13-2	起因物番号	11	12	13	14	15	16	17	18	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	42	51	52	61	71	91	92	99			
		業	業	業	業	業	業	業	業		業	計	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機		
1	墜落、転落	2	5							3	10			1					1		1							3	4												
20	2m以上からの	2	2							1	5										1								4												
21	2m未満からの		3							2	5			1														3													
2	転倒		1								1			1																											
22	滑り																																								
23	つまづき																																								
24	踏み外し																																								
25	もつれ等																																								
26	その他の転倒		1							1				1																											
3	激突																																								
4	飛来、落下																																								
5	崩壊、倒壊		1								1																			1											
6	激突され					5					5						1																		4						
7	はさまれ、巻き込まれ									2	2					1					1																				
8	切れ、こすれ																																								
9	踏抜き																																								
10	おぼれ																																								
11	高温、低温の物との接触																																								
12	有害物等との接触		1								1																														
13	感電																																								
14	爆発																																								
15	破裂																																								
16	火災																																								
17	交通事故(道路)			2					2	2	6			2																											
18	交通事故(その他)																																								
19	動作の反動・無理な動作																																								
27	腰痛																																								
28	転倒もどき																																								
29	その他の動作の反動、無理な動作																																								
90	その他																																								
99	分類不能																																								
	合計	2	8	2		5		2		7	26			4		1	1			1	2	4						3	5					5							

令和7年 署別・業種別死亡災害発生状況
令和7年5月末現在

北海道労働局

業種別	1号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	8-2号	13-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業	小売業	社会福祉施 設		
署別													
札幌中央			1									2	3
札幌東			2	1						1		1	5
函館	1							3				1	5
小樽													
岩見沢												1	1
旭川												1	1
帯広			3					1					4
滝川													
北見			1	1				1					3
室蘭										1		1	2
釧路													
名寄													
留萌													
稚内			1										1
浦河	1												1
苫小牧													
倶知安 (支)													
計	2		8	2				5		2		7	26

※ 本統計は、把握した死亡者数の速報値である。

令和7年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
令和7年5月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号 業種	業種											起因物番号 起因物																												
		1 製	3 建	4 道	5 陸	6-2 港	7-2 林	8-2 水	13-2 小	社	そ	起	11 原	12 動	13 木	14 建	15 金	16 一	17 車	18 食	21 動	22 動	23 乗	31 圧	32 化	33 溶	34 炉	35 電	36 人	37 用	39 所	41 仮	42 床	51 危	52 材	61 荷	71 自	91 所	92 起	99 分	
1	墜落、転落	38	80	65	8	1	3	3	4	30	12	117	361			13	1	3	1		2	70	8						2	85	5	126	11			11	22			1	
20	2m以上からの	7	31	11	1		1	2	1	1	22	78			3						7	2							16		38	2			3	6			1		
21	2m未満からの	31	49	54	7	1	2	1	3	29	11	95	283			10	1	3	1		2	63	6					2	69	5	88	9			8	16					
2	転倒	123	48	97	63	5	1	5	3	187	111	396	1039			1	2		1	2	1	10	13				1	5	14	5	19	892			1	3	17	4	48		
22	滑り	72	36	74	49	3	1	2	2	141	80	275	735			1		1				5						2	7	713					6						
23	つまづき	37	7	8	5	2		1		26	15	59	160								1	1					1		5	2	6	141			1		1	1			
24	踏み外し	3	1	3	2					3	3	5	20			1						1								1	3	14									
25	もつれ等	7	1	2	4					7	7	19	47										1					1	1			4					2	38			
26	その他の転倒	4	3	10	3			2	1	10	6	38	77			1			2			3	12					4	6	2	3	20		1	2	11	1	9			
3	激突	16	8	21	3	2	1	1	1	9	8	43	113			3					1	16	5					9	18	11	18	17		3	4	5		3			
4	飛来、落下	18	11	11	1			4		7	4	13	69			2	1	2	3		1	1	4		1			5	17	3	1			11	9	8					
5	崩壊、倒壊	5	9	1				2				5	22			1						1						3		1	3			5	3	5					
6	激突され	11	15	7	1	1	1	9	2	10	8	48	113			2	2		1	1	2	3	10	7			1	13	8	1	5	1		1	4	46	2	3			
7	はさまれ、巻き込まれ	78	29	30	7		2	2	10	13	4	47	222	1	5	5	5	9	28		20	10	31	12	1			23	14	5	15	1		6	15	12	1	3			
8	切れ、こすれ	32	18		1	1		3		9	7	29	100			21		6	5		16		1					29	9	6	1		6								
9	踏抜き		2		1						2		5																1	1		1	2								
10	おぼれ		1									1	2																							2					
11	高温、低温の物との接触	12						1		7		12	32					2				1				1			6	8			2	2		8	1	1			
12	有害物等との接触	2	2	1						1		3	9																1	1			4	1		2					
13	感電																																								
14	爆発	1											1																												
15	破裂																																								
16	火災			1									1									1																			
17	交通事故(道路)	4	12	21	15					10	3	47	112			2					1	18	81									7				3					
18	交通事故(その他)		1									1	2										2																		
19	動作の反動・無理な動作	24	15	34	13	3	1	3	3	31	53	78	258							1		5	4	1				3	15	4	13	58		1	41	16	14	82			
27	腰痛	5	3	2	2			1		7	22	11	53															1		1	1	1			13	4	10	22			
28	転倒もどき	11	7	15	3	1				8	8	19	72															3	1	2	51			1	2	2	10				
29	その他の動作の反動、無理な動作	8	5	17	8	2	1	2	3	16	23	48	133						1		5	4	1				2	12	2	10	6		1	27	10	2	50				
90	その他	1			24					1	38	145	209															1								1	201	5	1		
99	分類不能																																								
	合計	365	251	289	137	13	9	33	23	315	250	985	2670	1	5	31	28	19	43	4	40	19	168	132	3		1		2	92	189	51	201	988	7	39	90	147	223	145	2

令和7年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	1	9時台	輸送用機械等製造業	50人以上99人	墜落、転落	乗物 239	被災者は、船舶の試運転業務において、アンテナにワイヤーが引っ掛かっていたため、マストの垂直はしごに登り、マストの踊り場へ移動して引っ掛かっていたワイヤーを外したところ、踊り場付近のレーダーアンテナが突然回転し、4.8メートル下の甲板まで墜落したものの。
7	2	14時台	電気・ガス・水道業	10人以上29人	墜落、転落	仮設物、 建築物、 建築物、 構築物、 構 414	被災者は、同僚と2名で放水ダムの設備の点検作業に従事していた際、放水口制水門を開閉する巻き上げ機の取付け位置にある開口部を塞ぐ蓋板(重さ約30kg)の位置がずれていたため、2名で蓋の位置を調整しようとしたところ、誤って開口部から蓋板を落としてしまい、蓋板の重みに引っ張られた被災者が開口部から10m以上墜落したものの。

令和7年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	1	14時台	建築 工 事 業	10 人 以 上 29 人	墜 落 、 転 落	3 7 2 用 具	被災者は、高さ約2メートルの箇所の壁に石膏ボードを貼り付けるため、脚立の上から2段目の踏みさんにまたがって、地面に置いた石膏ボードを持ち上げた際、脚立から墜落したものの。
7	1	10時台	建築 工 事 業	10 人 未 満	墜 落 、 転 落	4 1 1 仮 設 物 、 建 築 物 、 構 築 物 等	被災者は、屋上防水工事のため現場に入場し、外部足場のブラケットに設置した荷の上げ下ろし用電動ウインチを取り外そうとした際、足場の筋かい、下棧等を取り外し、要求性能墜落制止用器具を使用せず作業をしていたため、17.6メートル下の地上部まで墜落したものの。
7	1	15時台	建築 工 事 業	10 人 以 上 29 人	崩 壊 、 倒 壊	4 1 5 仮 設 物 、 建 築 物 、 構 築 物 等	被災者は、鉄骨造2階建て建築物の解体工事現場において、屋上部の床を支える鉄骨梁をガス溶断していたところ、当該梁を切りすぎたため折損し、屋上の床部分が落下、2階で作業を行っていた被災者が下敷きとなったものの。
7	2	9時台	建築 工 事 業	10 人 未 満	墜 落 、 転 落	4 1 4 仮 設 物 、 建 築 物 、 構 築 物	被災者は、食料品製造工場の新築工事現場において、天井断熱パネルを屋根骨材から吊った後の吊り具のゆるみの点検作業に従事していたが、天井裏を移動中にブルーシート養生が施された開口部から5.8メートル下の床面まで墜落したものの。
7	2	14時台	土 木 工 事 業	10 人 未 満	墜 落 、 転 落	2 1 2 動 力 ク レ ーン 等	被災者は、移動式クレーンに積もった雪の除雪作業を行っていた際、移動式クレーンの操作レバー上部の除雪のため、移動式クレーンの基部と荷台の鳥居部分の間に足をかけたところ、足を踏み外し、体がアウトリガーと運転席側の荷台壁面の間に挟まったとみられるもの。
7	5	14時台	建築 工 事 業	10 人 以 上 29 人	墜 落 、 転 落	1 4 2 建 設 機 械 等	被災者は、一般住宅新築工事現場の外構作業において、既存の擁壁を嵩上げするため、ドラグ・ショベルを運転し当該擁壁の周囲を掘削して付近に堆積させていたが、当該掘削土をドラグ・ショベルで乗り越えようと前進させたところ脚部が横滑りして斜面から転落し、その際に運転席から投げ出され、斜面の下部においてドラグ・ショベルの下敷きとなったもの。

令和7年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	5	13時台	その他の建設業	10人未満	有害物との接触	環境等 714	排水処理場の汚泥槽(コンクリート槽、縦1m×横0.5m×深さ5.3m)の中にある装置の交換作業をするため、換気等の何らの措置を講じずに入槽した。汚泥槽内部の低部付近で異臭が強くなり、脱出しようとしたが意識不明となり、救助後、死亡が確認されたもの。
7	5	8時台	土木工事業	10人以上29人	転倒	建設機械等 141	被災者は、ブルドーザーを運転して盛土の敷均し作業に従事していたが、ブルドーザーを停止して履帯の上に立ち、姿勢を変えた際、操作レバーに触れてしまったためブルドーザーが前進し、履帯上で転倒して体を打ち付けたもの。

令和7年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	1	2時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、乗用車による配送業務を行っていたところ、赤信号の交差点に停止していたダンプカーの後方に追突した。災害発生当時、路面は濡れていたが、ブレーキ痕は見当たらなかった。
7	3	11時台	道路貨物運送業	30人以上49人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、セミトレーラをけん引して走行中、路面がアイスバーンのためカーブでスリップして路肩に転落し、キャビンが電柱と接触した。

令和7年 林業災害における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	1	10時台	林業	10人未満	激突され	車両系木材伐出機械等 171	被災者は、チェーンソーと木材グラップル機との共同作業においてチェーンソーによる作業を担当し、被災者が受け口、追い口を作った立木をグラップル機が引き倒し、木寄せしたところ、木材グラップル機又はつかんでいた立木が被災者に激突したものの。
7	1	15時台	林業	10人以上29人	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていたが、作業終了時刻になっても戻らず、伐倒木の下で倒れた状態で発見されたもの。
7	2	9時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーによる立木伐倒作業に従事していたが、伐根直径約50cmの立木を伐倒した際に、当該立木が縦に裂け、裂けた元玉部分が被災者に激突したものの。
7	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業の補助としてクサビを打つ作業を行っていたが、伐倒中の立木が伐倒方向と逆方向に倒れたことから退避したところ、倒れた立木がすでに伐倒していた木に当たり、退避していた被災者に激突したものの。
7	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業を行っていたが、伐倒木の伐倒方向が想定からずれたことにより、伐倒木が跳ね、被災者に激突したものの。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	1	6時台	小売業	30人以上 49人	交通事故（道路）	建設機械等 141	被災者は新聞配達作業に従事する労働者で、顧客宅付近にて乗用車から降りていたところ、坂の上から走行してきたタイヤショベルが路面凍結によりスリップし、停車しきれず被災者の乗用車に追突し、これに押される形で被災者が当該乗用車に轢かれ下敷きになり、さらに同方向からやってきた別の乗用車が被災者の乗用車に追突したため、下敷きになったまま2mほど引きずられ死亡したもの。
7	1	13時台	その他の事業	30人以上 49人	墜落、転落	仮設物、建築物等 415	被災者は、同僚とともに高さ5.7mの屋根の上にて、墜落防止措置を講じず、スコップを使用して雪下ろし作業をしていたところ、屋根に堆積していた雪が滑り落ちたことで、背部から雪がなだれ込み、足をとられ、屋根の端から墜落したもの。被災者は2名、うち1名が死亡した。
7	1	15時台	その他の事業	以上	交通事故（道路）	乗物 231	被災者は、社用車で出張先から所属事業場に戻る際に高速道路を走行中、インターチェンジ付近でクッションドラムに衝突したもの。
7	1	14時台	通信業	300人以上	交通事故（道路）	建設機械等 141	被災者は、バイクにより郵便配達作業中、後退してきた除雪作業中のモーター・グレーダーに激突され、下敷きになったもの。
7	2	8時台	警備業	50人以上 99人	墜落、転落	用具 372	被災者は、廊下の電球の取替作業のため脚立を使用していたところ、脚立の上から転落し、額を床にぶつけたもの。
7	3	13時台	清掃・と畜業	100人以上 299人	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 162	被災者は、金属くず及び産業廃棄物の破碎処理を行うプラント内の風力選別機から異物を除去する作業中、風力選別機の回転部に、右腕と頭部が巻き込まれたもの。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	2	13時台	清掃・と畜業	10人未満	墜落、転落	3 7 2 用具	被災者は、蛍光灯の交換のために高さ1.5メートルの脚立を使用していたところ、脚立上でバランスを崩し墜落した。ヘルメットは未着用であった。
7	3	9時台	その他の事業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	2 2 9 動力運搬機	被災者は、他の作業員とともに立体駐車場の定期点検を行っていたが、上階に移動するために搬器に乗り込み、別の作業員が操作盤で搬器を動かしたところ、搬器の外枠の支柱とガイドレールに被災者の頭部が挟まれたもの。
7	1	5時台	小売業	50人以上99人	交通事故 (道路)	2 3 1 乗物	被災者は、新聞配達業務中、他者が運転する自家用車の後部座席に乗りし道路上を走行していたところ、凍結路面でスリップし、道路脇の電柱に激突したもの。

死亡労働災害の概要(令和7年5月把握分)

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	1	5時台	小売業	50人以上 99人	交通事故 (道路)	乗物 2 3 1	被災者は、新聞配達業務中、他者が運転する自家用車の後部座席に乗車し道路上を走行していたところ、凍結路面でスリップし、道路脇の電柱に激突したものの。
7	5	14時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落、転落	建設機 1 4 2 等	被災者は、一般住宅新築工事現場の外構作業において、既存の擁壁を嵩上げするため、ドラグ・ショベルを運転し当該擁壁の周囲を掘削して付近に堆積させていたが、当該掘削土をドラグ・ショベルで乗り越えようと前進させたところ脚部が横滑りして斜面から転落し、その際に運転席から投げ出され、斜面の下部においてドラグ・ショベルの下敷きとなったもの。
7	5	13時台	その他の建設業	10人未満	有害物との接触	環境等 7 1 4	排水処理場の汚泥槽(コンクリート槽、縦1m×横0.5m×深さ5.3m)の中にある装置の交換作業をするため、換気等の何らの措置を講じずに入槽した。汚泥槽内部の低部付近で異臭が強くし、脱出しようとしたが意識不明となり、救助後、死亡が確認されたもの。
7	5	8時台	土木工事業	10人以上 29人	転倒	建設機 1 4 1 等	被災者は、ブルドーザーを運転して盛土の敷均し作業に従事していたが、ブルドーザーを停止して履帯の上に立ち、姿勢を変えた際、操作レバーに触れてしまったためブルドーザーが前進し、履帯上で転倒して体を打ち付けたもの。